

クロスロード

Vol.13

2018年11月号



ギネス世界記録への挑戦

7月28日(土)
川之江地区商店街

たかはし
高橋

あきら
章 (2017年度入会・会員向上委員会)

7月28日土曜日。第41回紙祭りの中で法皇青年会議所の公益事業、世界ギネスに挑戦「折り紙手裏剣の最多展示数」を担当委員会として参加できギネス記録を更新できたことを大変光栄に思います。そして、支えてくださった法皇青年会議所のメンバー、折り鶴を作成くださった四国中央市内の小中学生と保護者の皆様、他関係者の皆様、本当にありがとうございました。

この、ギネスに挑戦するということは法皇青年会議所として初の試みで、法皇青年会議所のメンバーには大変苦労や心配をかけたことと思います。私自身も当初より、この事業に関らせていただいたのですが、事業を行うにあたり、物事の進め方、関係各所との連携、事業計画の段階から準備、片づけに至るまで一つの事業をやり遂げるといことの大変さをつくづく実感いたしました。そんな中、天候不順で台風を警戒しながら事業が達成できたことは大きな自信となりました。そして、この事業が会員向上委員会のメンバーを向上させてくれたことに感謝しています。今後も、法皇青年会議所の活動を通じ自分を高め、地域に貢献していけるよう努力していきます。



担当委員長からひとこと **大西 祐輔**

7月28日、紙まつりにて四国中央市でギネスに挑戦、「折り紙手裏剣の最多展示数」というギネス記録に挑戦しました。紙まつり実行委員会をはじめ、法皇青年会議所のメンバーや市内の全小中学校の協力のもと、ギネス記録に挑戦することができました。既存の記録である2575個を大幅に上回り、8934個の大記録を達成しました。

四国中央市に新たな記録を残せたと共に、市民の記憶に残る事業になったと思います。協力、参加してくださった皆様、本当にありがとうございました。

第48回愛媛ブロック大会 法皇大会 記念事業「次世代ブランドマーケット」

7月28日(土)
川之江地区商店街

ブロック大会連絡会議 議長

むらかみ

まもる

村上 守 (2013年度入会・副専務理事)

平成30年6月28日から7月8日にかけて西日本を中心に雨が降り続いた平成30年7月豪雨の被害が、愛媛県も襲いました。南予地域では、メンバー企業、自宅なども被災したなか、愛媛ブロックとして、ブロック大会記念事業を開催していいのであろうか。中止にするべきではないだろうか。などの開催が危ぶまれる状況でした。

愛媛ブロック協議会会長より開催の決定を受けたのは開催の1ヶ月前でした。ただ、南予地域のメンバーは参加不可能となるかもしれないと聞いていた中、宇和島、八幡浜、そして大洲。すべて参加しますという快いお返事を頂きました。

そして迎えた7月28日には、前日より懸念された台風の影響より、当日開場移動や、物品の移動など、急遽の対応に追われた1日がスタートしました。しかし、会場では、多くの方の笑い声や、各地会員会議所メンバー、ブース定員などの呼び込みの大きな声など、開催出来た喜びを感じることができました。

最後に、開催までご尽力頂きましたメンバーの皆様と、参加頂いたすべての皆様に感謝申し上げます。

『覚悟をもった挑戦を～すべては次世代のために～』

第48回愛媛ブロック大会法皇大会記念事業「次世代ブランドマーケット」



JC杯学童軟式野球大会

9月1・2日(土・日)／9月15日(土)
三島市民球場

しんどう
進藤

まこと
誠(2017年度入会・会員向上委員会)

9月1、2日及び15日に第5回目になりますJC杯学童軟式野球大会が行われました。

大会初日は雨天の為開催が危ぶまれましたが子供たちの「野球がしたい!」という気持ちもあり、約3時間遅れで1回戦を始めることができました。

日程や時間的なこともあり、15日に決勝戦のみを執り行いました。

私個人的には、久しぶりに少年野球を観戦して感じたことが3つありました。

1つ目は、1チームあたりの人数が自分が所属していた頃よりも減っていることです。日本の人口減少からしたら当たり前のことなのかもしれませんが、野球人口も年々減っていく事は寂しいことだと思うので自分にできることがあれば、その支援をしていきたいと感じました。

2つ目は、一生懸命プレーする子供たちの姿がとても素晴らしいと感じました。

普段の仕事に追われ、ただ何かを行っているだけの時間ではなく、1プレー1プレーその一瞬一瞬を大切にプレーしている姿を見て、今一度自分が行っている仕事の中の時間を大切にしていきたいと考えさせられました。

3つ目は、何歳になっても「野球」というものを通じて学ぶことや「野球」を通じてコミュニケーションが円滑になっていくことがあるのだと感じました。

内野手がゴロを一塁手へ送球する時や、捕手が投手へ返球する時など悪送球になった時の為にカバーに入る選手のプレー。野手全員が投手へかける励まし。エラーした選手への励まし。バット引きやボールボーイなどチーム一丸となって同じ方向へ向かって突き進む姿は、社会人になって組織として動く時と同じことが言えるはずです。

また、普段お会いしても話す機会がなかったメンバー間でもコミュニケーションがとれたことが良かったと感じました。

最後になりますが、各チームの選手・監督コーチ・保護者の皆様・大会関係者の方々へお礼を申し上げ、この事業の報告とさせていただきます。本当にありがとうございました。

担当委員長からひとこと 大西 祐輔

今年も公益社団法人法皇青年会議所と四国中央市軟式野球協会学童部の共催による野球大会、第5回JC杯学童軟式野球大会を開催することができました。

天候不良により、開会式を開くことができず予定が大きく変わり、さらに試合中にも雨が降り中断をしながら進めましたが、元気よくハツラツにプレーする少年少女たちの姿を見たら、野球大会を行うことができ本当に良かったと思いました。



職業見学事業

9月15日(土)
ホテルグランフォーレ・各企業

寺井 ^{てらい} ^{もとき} 基樹 (2017年度入会・まちづくり委員会)

9月15日(土)に第3回目となります青少年向け職業見学事業が行なわれました。毎年特色のある職業見学事業を行なっておりますが、今年は「仕事を体験しよう」をテーマに多くの企業様の協力をいただきました。

私にとって今回JCに入会して初めて準備段階から参加した事業となりました。打ち合わせを行い、製造業の企業様には安全に配慮した職業体験を提案していただきました。挨拶として「名刺交換」ができるように準備もしました。

当日は小学生54名、企業様12社に参加いただくことができました。子供たちは名刺交換の方法を教わった後、企業を訪問しました。通常では見学できないような「仕事の体験」を企画いただき、子供たちは笑顔で時には真剣な表情で様々な仕事に触れていました。はじめはぎこちなかった名刺交換も回数を重ねる内に慣れた様子で名刺を準備し、堂々と挨拶を行なっていました。たった1日ですが、子供たちの表情、雰囲気が急に大人になったように感じました。この「体験」を通して地元企業の魅力に触れ、街の未来、自分の将来を考えてもらえればと思います。

ご協力いただきました企業の皆様ありがとうございました。

担当委員長からひとこと ^{もりかわ} ^{ちから} 森川 力

西日本豪雨災害の影響で7月7日に開催予定でした「しこちゅうーじよぶ～四国中央市の仕事を体験しよう」が9月15日に開催致しました。

当初の予定より子供たちの数も企業様の数も減った中での開催でしたが子供たちからは「楽しかった!」「また来年も参加したい!」と嬉しい言葉を頂きました。また、企業様におかれましては来年以降も是非協力させてほしいと言った事もおっしゃっていただきました。何より子供たちの楽しそうな顔を見れた事が本事業の1番の魅力だと感じました。



事業報告

7月26日例会・総会



種田宗司君が2019年度理事長予定者に正式に決まりました。また、懇親会では次年度理事予定者が来年への意気込みを語ってくれました。

8月26日例会



8月例会は、屋外で行われました。例会アワーではメンバーの家族を交えて、バーベキューや流しそうめん等を行い、交流を深めました。

9月26日例会



9月の例会アワーではメンバーのコミュニケーション能力の向上の為、人気のラジオパーソナリティーの高橋真実子様に「人生を動かすトーク術」と銘打ち、講演をして頂きました。

新入会員紹介

なかしま こうすけ
中央道路株式会社 **中島 康介**(34歳)



中央道路株式会社の中島康介と申します。日頃より弊社の道路工事におきまして大変ご迷惑をおかけしておりますとともに、スムーズな施工のためにご理解ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

健康経営の一環として、2018年1月より保険部署(保険代理店)を新設し、社内・社員の保険の管理や保険営業を担当しております。また、長く会社が発展していくために、「人が病気になりにくい」「事故が起こりにくい」「モノが故障しにくい」そんな会社になるような取組を日々考えております。

27歳の時に初めて四国中央市で生活することになりました。それまでの人生、多くの出会いの中、たくさんのあたたかさを知ってきたつもりでした。しかし、四国中央市民の地域に対する愛情は今までの比になりませんでした。地域を心から愛する市民から託された想いが、「いつかこの街で集大成を迎えたい。恩を返したい。」という想いに至らせてくれました。

何ができるかわかりませんが、自分にできることを見出し、とにかく四国中央市のために力を尽くします。

CROSS -シニアクラブメンバー紹介-

FROM シニアクラブ

株式会社モリオト 代表取締役 もりさね 森実 たいぞう 泰三

1966年1月4日生まれ。旧伊予三島の出身です。大学卒業後、東京の住商紙パルプ(株)にて5年間、その後3年間は米国にある同社のグループ会社Summit Pulp and Paperにお世話になりました。31歳になった97年に帰国と同時に株式会社モリオトに入社。2012年に代表取締役、現在に至ります。

JCには、地元に戻ってすぐにお誘いをいただきましたが、1年間は何もせず、入会したのは98年ですから、(社)伊予三島青年会議所と(社)川之江青年会議所が(社)法皇青年会議所に統合された後となります。叔父が伊予三島JCのOBでJC活動には大変理解があり、日本JCへの出向も99年と2001年の2回経験させていただきました。四国中央市が誕生した2004年に理事長、2005年にはブロック会長の職も受けさせていただきましたのは、諸先輩のご指導は勿論、一緒に活動するメンバーに恵まれていたことであり大変ありがたく、本当に素晴らしい経験となりました。

■会社紹介

昭和21年に祖父である森実音之助が製紙原料である古紙の卸売業として創業しました。昭和33年に法人化。平成4年に現在の社名に変更。古紙卸売と再生紙管の加工販売を長年行ってきましたが、製紙原料の流通形態が少しずつ変化し始めた昭和の終わり頃から紙加工業に範囲を広げ、古紙の卸売が現在もメインではありますが、中空撚糸を使用した紙製品の比率が大きくなっています。

■現役の皆さんへ

40歳までという限られた期間の中での青年会議所活動は、人とのつながりは勿論、遊びも含めた多くの学びを得る機会として本当に貴重なものだと思います。チャンスがあるのであれば、ブロック、地区、そして日本JCに出向し、より多くの出会いと学びを経験していただき、それを地元のLOMでの活動に活かしていただければと思います。メンバーとして受動的ではなく積極的に、能動的に行動すれば、より一層の学びを得られるでしょう。卒業までのJC活動が有意義で実り多きものとなりますよう、ご活躍を祈念申し上げます。

卒業式ご案内

2018年12月1日(土) ホテルグランフォーレにて

シニアメンバーの皆様も是非ご参加ください!!



✿本年度卒業生✿

合田武史君・内藤寛子君・長井慶太君・長野良孝君・中村英悟君

これからの予定

★ 11月26日(月) 11月度例会・臨時総会

★ 12月 1日(土) 12月度例会・卒業式・納会

ご協力どうもありがとうございました

作成編集:総務広報委員会【委員長:坂上慶浩】

石川雄大、井藤雅人、篠原謙介、高橋誠治、中島康介、長野光樹、新田和敏、長谷川綾、星川洋佑、真鍋和也、守屋真梨子

ホームページ <http://www.hohoh-jc.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/hohoh.jc/>

ブログ <http://ameblo.jp/hohohriji/>